

## 野洲市大篠原地域環境保全対策委員会 令和3年度第1回会議結果

1. 開催日時 令和4年2月1日(火) 10時00分～11時00分
2. 開催場所 野洲クリーンセンター 2階研修室
3. 出席委員 岸本委員長、藤森副委員長、岩佐委員、橋委員、網野委員、飯田委員 以上6名  
※欠席委員なし
4. オブザーバー 滋賀県南部環境事務所 川崎所長
5. 関係事業所 事業所C1名
6. 事務局 栢木市長、武内環境経済部長、西村環境経済部次長、中原環境課長、駒本課長補佐、松本環境課主任、南井野洲クリーンセンター所長、中井専門員、山藤専門員 以上9名  
野洲クリーンセンター運営事業者1名
7. 傍聴者 なし
8. 会議次第

1. 開会
2. あいさつ
3. 委員自己紹介
4. 委員長、副委員長の選任
5. 議事
  - (1) 地域内の環境負荷施設の取り組みについて
  - (2) 令和3年度周辺河川等環境モニタリング調査結果について
  - (3) 令和4年度環境モニタリング計画(案)について
6. その他
7. 閉会

### 8. 会議結果

#### 議事(1) 地域内の環境負荷施設の取り組みについて

##### ○意見、質疑等(・各委員 →市事務局)

- ・今回、特段異常値が出てないので問題は無い。クリーンセンターについては、従来ばいじんの水銀含有量が高い時があり、その後の取り組みのデータが出ているが、昨年度、水銀再溶出防止剤等の対策を取り、結果として、ばいじん中の水銀含有量は相変わらず高い数値が出ているが、溶出値はほぼ完全に抑えられ、適正な数値になってきている。データ量も多くないので、今後さらに注視していく必要があるが、次回以降確認をしながら適切に運転管理の継続をお願いする。

#### 議事(2) 令和3年度周辺河川等環境モニタリング調査結果について

#### 議事(3) 令和4年度環境モニタリング計画(案)について

- ・周辺河川等環境モニタリング調査結果について、砂防沈砂池の底質中ダイオキシン類0.099ピコグラムについてどのように判断されているのか。数値を折れ線グラフで示していただくと異常があれば住民が判断できるし、それが厳しいのであれば、単位をもう少し小さめにして、その山を少なめにして、そうすると設定値に入っていると一目で判るので、一つの意見として検討頂ければと思う。
- 数値の変動について、以前にも本委員会で確認頂いているが、もう少し判りやすく折れ線グラフ等で出来るのであれば、環境基準の表記も含めて検討させて頂く。
- ・タゴカエルはきれいなところしか生息しないという事だが、活発に動くのは気温で何度位か。
- ・繁殖期は、早いところは2月の末頃からだが、この辺の水辺では繁殖期だけで4月の中頃から5月にかけて大きな声で鳴くので判る。
- ・タゴカエルの生息地は急峻で水たまりが無いとのことだが、オタマジャクシはどこに生息しているのか。
- ・ここは急峻であるが、湧き水は流れており、少し溜まっているところもあり、穴や岩の割れ目の中で産卵してオタマジャクシになると思われる。大きくなれば近くの林などに移動し、通常は湧き水の岩の下とかにいるから姿は見えない。
- ・今回は異常値等の事例もなく濃度レベルも昨年に比べ同等かそれ以下となっており、底質はサンプリングの場所で左右されるが、相対として問題ないレベルであると思う。令和4年度環境モニタリング計画(案)も同内容で継続し見させて頂き、不適切なかたちで出てきた場合には、その都度、本委員会で対応させて頂く。

以上